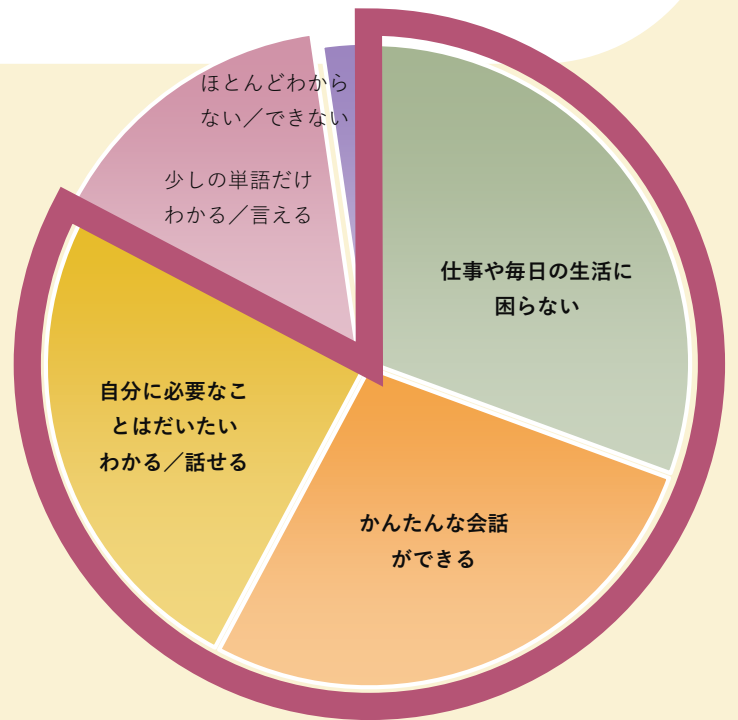


やさしい日本語 ガイド

82.7%の岡山市在住外国人が
日本語で「自分に必要なことはだいたいわかる／話せる」と答えています。



地域の外国人に、まずは
やさしい日本語で
話しかけてみましょう！



日本語がどれくらいできますか？（話す聞く）
令和5年連携中枢都市圏外国人コミュニケーション支援事業アンケートより

たとえば・・・

土足厳禁

通話をご遠慮ください

直ちに避難してください

くつ靴をぬいでください

ここででんわ電話をしてはいけません

すぐにに逃げてください

やさしい日本語のコツは裏面に！

やさしい日本語7つのコツ

はじめの心得：内容を整理し、相手に配慮する

聴き方の心得：相手の話をしっかり聴く

話の進め方：反応を見る、臨機応変に対応する

話し言葉のやさしい日本語の活用促進に関する会議
「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン 話し言葉のポイント」2022年10月より抜粋

1 難しい言葉を使わず、簡単な単語を使う

「清掃活動」→「そうじ」「炊き出し」→「食べもの」
※災害用語などはそのまま使い、説明を加える。「避難所（逃げるばしょ）」

2 一文を短くして、簡単な構造にする

「〇〇する前には、△△をせず、□□してください。」
→「□□をしてください。その後、〇〇してください。」

3 あいまいな表現は使わない

ご遠慮ください→できません

4 文末はなるべく「です」「ます」「してください」に

「～していただけますか？」→「～してください」
カタカナ・外来語はなるべく使わない

5 擬態語や擬音語は使わない

「めちゃめちゃ」→「とても」「ザーザー」→「たくさん」

6 漢字にはルビ（ふりがな）を振る

ルビ振（ふ）り機能（きのう）が無（な）ければ、カッコ書（が）きで

7 和暦ではなく西暦を使う

「令和7年」→「2025年」

これであなたも
やさしい日本語マスター！
次は、実際に使って
交流してみよう！